

1. 事業の目的

複合施設に導入する民間機能については、子育て中の女性やひとり親家庭などの女性に軸をおいた就労支援に関する機能の導入を検討しており、準備段階でそのニーズを探る必要がある。

このため、働きたいと考えているものの子育てによるブランクにより就職に不安がある女性などを対象に、就職または再就職への支援を図ることを目的として、子ども未来室や産業部と連携し、ワークショップ・セミナー等を開催するほか、事業者のニーズ調査など関連するソフト事業を試験的に実施し、女性に寄り添った仕事と子育ての両立を支援する。

2. 実施結果

(1) セミナー・ワークショップ

就職や職場復帰に不安を抱える女性や仕事と家事・育児の両立を目指す女性等の悩みの解消や就労に結びつける「きっかけ」を提供するため、セミナー・ワークショップを開催した。

■概要

① ライフプランニング講座 (10/8 6名)

今後のライフプランを充実したものにいただくため、「子育てすごろく」を使って、今後の子育てに必要なお金を計算し、夢プランを作成した。

② 自己分析・自己理解講座 (9/19 6名、10/15 8名)

今後の仕事探し等に活かすため、「エニアグラムアセスメント」という自己分析ツールを用いて、自身の適正を把握した。

③ 鷺谷恭子氏スペシャルセミナー (10/16 7名)

「ブランクがある私だからこそ描けるキャリアがある」と題し、ご自身の経験をもとに㈱ケイリーパートナーズ代表取締役・2hours代表の鷺谷恭子氏に講演いただいた。

■ワークショップ（しゃべり場）での主な意見

- ・子どもが同年代のママたちと話ができる場が欲しい。
- ・預け先がなくて働くことができない。時短でもいいから働きたい。
- ・託児サービス付きの就労支援施設が欲しい。
- ・企業向けのセミナーがあったら良い。企業側が理解してくれたら働きやすい環境になるのでは。
- ・働きつつも家族との時間を大切にしたいので、短い時間で働ける仕組みがあるといい。
- ・ハローワークのママだけバージョンがほしい。



(2) 子育て支援団体との連携

子育て世代の女性の実態を把握するため、子育て支援団体を対象とした意見交換会を開催した。また、セミナー・ワークショップ開催時の一時預かりについて、子育て支援団体と連携し実施した。

■概要

① 子育て支援団体代表者との意見交換会 (9/22、9/28)

② 子育て支援団体メンバーとの意見交換会 (10/6)

求職者（女性）アンケートの中間集計結果をもとに、実際に利用者から聞かれる話との乖離や行政に求める支援策などについて意見を伺った。

③ セミナー・ワークショップ時の一時預かり

計13名利用（内訳：9/19 3名、10/8 4名、10/15 1名、10/16 5名）

■意見交換会での主な意見

- ・よく聞かれる「職場の理解」は、「上司の理解」というより、「現場や同僚の対応」がどうであるかという意味だと思う。「お互い様」と相互にフォローし合える関係性がベストである。
- ・「求職活動中の子どもの預け先を拡充してほしい」という意見は、「無条件に急でも預かってくれるところがほしい」という意味だと思う。
- ・子育てでいっぱいになるとリズムやバランスを崩してしまうが、働くことでこれが解消されたという話をよく聞く。
- ・1ヶ所で仕事の相談と保育所の相談が同時にできると利用しやすいと思う。
- ・複合施設全体として「子連れ〇〇」ができるのは良いと思う。



(3) 求職者(女性)アンケート

就職を考えている子育て中の女性や家事・育児の両立を目指す女性が望む就労条件や職種等を調査するため、アンケートを実施した。

■概要

- 対象 白河市内または近隣地域在住の女性
- 方法 ① 市内幼稚園、認定こども園での配付、回収
② 市内子育て支援団体にて配付、回収
③ ハローワーク来所者への配付、回収
④ ひとり親に対する児童扶養手当現況調査通知に同封、窓口回収
⑤ 派遣会社にて配付、回収
⑥ 職業訓練生への配付、回収
- 期間 令和3年7月5日～8月31日
- 回収 998件(うち就業者682件、未就業者316件)

■調査結果(主なもの)

- 未就業者について
 - ・働かない理由または働けない理由(複数回答)
条件が合わない120、時短の仕事がない96、自信がない91等
 - ・どのような働き方を希望しているか
パートアルバイト74.7%、正規従業員13.5%、派遣社員2.9%等
 - ・どのように就職活動をしているか(複数回答)
インターネットの活用118、ハローワーク107、求人広告95等
 - ・就職への不安はどんなものがあるか(複数回答)
育児と家事の両立202、子どもの病気や行事の職場の理解187等
 - ・行政の支援として望むもの(複数回答)
求職活動中の子どもの預け先の拡充134、病児保育の枠の拡充93等
 - ・就職したら企業に何を理解してもらいたい(複数回答)
育児との両立245、業務の公平な評価74、スキルアップ45等
- 就業者について
 - ・現在の働き方
正規従業員38.6%、パートアルバイト35.6%、契約社員8.5%等
 - ・働くうえで重要視すること(複数回答)
収入427、家事育児の両立425、職場環境320、休日296等
- 共通
 - ・仕事を探すにあたり必要なサービスや施設は何か(自由記述)
託児付きのハローワークや相談施設
子育て世代に働きやすい求人をも具体的に紹介してくれる場
子どもを預けられる施設が増えてほしい

(4) 事業者アンケート

出産や育児等により一度仕事から離れた女性の採用、定着、活用等を検討するため、事業者を対象としたアンケートを実施した。

■概要

- 対象 白河市内または近隣地域に所在する企業、事業所775社
- 方法 郵送での配付・回収
- 期間 令和3年9月17日～10月13日
- 回収 355社(回収率45.8%)
- 協力 産業サポート白河、白河商工会議所、表郷商工会、大信商工会、ひがし商工会

■調査結果(主なもの)

- 女性をどのような業務で採用したか(複数回答)
(正社員)人事・総務・経理61、製造・生産46、営業・販売22等
(非正規フルタイム)製造・生産31、人事・総務・経理10、営業・販売8等
(パートアルバイト)製造・生産35、人事・総務・経理29、営業・販売15等
- 人材の募集はどのような方法で行っているか(複数回答)
(正社員)ハローワーク229、Web求人サイト55、自社HP42等
(非正規フルタイム)ハローワーク84、派遣社員を活用24、自社HP21等
(パートアルバイト)ハローワーク107、チラシ・新聞20、web求人サイト19等
- 採用にあたり折り合わなかった内容
業務内容87、勤務時間54、休日37等
- 小学生以下の子どもがいる女性に対して取り組んでいること(自由記述)
 - ・学校行事を優先しての休暇
 - ・子どもの都合による休暇が取得しやすい環境づくり
 - ・勤務時間、休暇の調整
- 仕事と子育ての両立支援の具体的な取り組み(複数回答)
短時間勤務141、休暇制度の充実96、時間ごとの有給取得可94等
- 出産等を機に離職した女性が再就職するために必要なこと(複数回答)
仕事と子育ての両立がしやすい環境が社会の中で整備されること236、
仕事と子育ての両立の環境整備に取り組んでいる企業への助成159等
- 女性活躍支援のために行政等に求める支援について(自由記述)
 - ・仕事と子育ての両立に悩む女性のための相談施設をつくってほしい
 - ・子どもを預かってくれるサービスの充実